



写真。清水寺で西洋の音楽劇を上演するのは初めて。

◎：日本芸術振興協会と今年創立250年となるイタリアのポローニャ歌劇場の共同制作。2作品は18世紀のパロック音楽の特徴が強く出ている。

## 窓

◎：世界遺産の清水寺（京都市東山区）本堂で23日夜、オペラ「音楽の先生」と「ドン・キホーテ」が上演され、招待客約250人を魅了した。交流だ」と強調した。

◎：清水寺の柱などを使って、出演者がコミカルに躍動した。同歌劇場のフランチェスコ・エルナニニ総裁は「互いの歴史を共有することこそ文化交流だ」と強調した。